

保健体育科公開授業学習指導案

指導者 講師・氏名 松本 健希

指導日時・教室 令和 5 年 11 月 15 日 (水) 5 限目 教室名 武道場
 対象生徒・集団 商業科 2 年(次) 生 31 人
 科目名 保健 (単位数 2)
 使用教科書 現代高等保健体育 (出版社名 大修館書店)

1 単元名 心肺蘇生法

2 本時の指導と評価の計画 (第6時)

(1) 本時のねらい

- ①正しい心肺蘇生法の実技に関して、実習を通して理解し、心肺蘇生法を正しく実践できるようになる。
- ②心肺蘇生法の実習に進んで取り組むことができる。

(2) 準備・資料等 AED+CPRトレーニングキット

(3) 本時の展開

過程時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】 (評価方法)
導入 5分	・挨拶、出席確認 ・前時の振り返り	・ワークシートを使用し、応急手当の意義とその手順について、発問形式で復習する。	・応急手当の意義とその手順について、理解しているか。	【知識・技能】 ワークシートに応急手当の意義とその手順について書いている。
展開 40分	・本時のねらいと学習内容の確認 ・心肺蘇生法について ・AEDについて ・具体的場面の設定	・手順と方法 ・ペアで胸骨圧迫 (トレーニングキットを使用) ・AEDの使い方 ・6班に分かれ、役割分担を行い、心肺蘇生法を行う。	・ワークシートと教科書で説明。呼吸確認時の注意点確認。 ・胸骨圧迫だけでも十分な効果があることを説明。ポイントを説明。 ・ワークシートと教科書、AEDのトレーニングキットで説明。 ・良かったところと改善点をグループで話し合わせる。その後、班で意見をまとめ発表する。ワークシートへも記入する。	【学びに向かう力・人間性等】 ワークシートに記入している。 【学びに向かう力・人間性等】 ワークシートに記入している。 【思考力・判断力・表現力等】 心肺蘇生法の具体的場面について、分析し、自分の意見を他者に伝えている。
終末 5分	・本時のまとめ ・挨拶	・ワークシートで確認	・私たちが心肺蘇生法を身につけ、実践できるようになると、多くの命を救うことができる。	【知識・技能】 ワークシートに本時で学んだことをまとめている。